

令和5年度 学校教育目標

【校訓】強く・正しく・美しく・仲よく

学 校 教 育 目 標

自ら学ぶ意欲と豊かな心を持ち、未来に向かってたくましく生きる子の育成
【～「社会でよりよく生きていける力をつける」をさらにレベルアップする～】

めざす子ども像

- ・自ら学ぶ意欲のある子
- ・多様性を認める豊かな心を持つ子
- ・あきらめず最後までやり抜くたくましさのある子

重 点 目 標

- ・学力の向上
- ・思考力、読解力の向上
- ・ICTの効果的な活用

経 営 方 針

- すべての取組（授業、学級経営、行事等）が、「児童が、自ら社会でよりよく生きていけるようにするための力を育てる。」ことを目指して行わなければならない。今年度は、さらにレベルの高い取組に挑戦する。
- 教職員が、まずワーク・ライフ・バランスを図りながら、心身ともに健康に年間過ごせる職場づくりを進める。

方 策

自ら学ぶ意欲のある子

- ・「主体的・対話的で深い学び」への授業改善
- ・ICTを活用したユニバーサルデザインの授業づくり
- ・読書活動の推進
- ・家庭と協力した自主的な家庭学習の研究
- ・ブチ勉強会（OJT）の実施

多様性を認める豊かな心を持つ子

- ・自分の大切さと同じように他の人を大切にする、確かな人権意識を育てる
- ・いろいろな人がいて当たり前だという意識を育む。
- ・協働性（他者と目的や課題を共有し、互いのよさや多様性をいかして課題解決に向かう態度）の育成。

あきらめず最後までやり抜くたくましさのある子

- ・給食をいかした食育の推進と啓発
- ・新体力テストの結果をいかし体幹を鍛え基礎体力、運動能力の向上を図る
- ・グローバル化に対応した語学力やコミュニケーションの向上を図る
- ・キャリア教育の推進

正しく

美しく

強く

仲良く

研 究 主 題

自ら考え、自ら判断し、自ら行動する力の育成
～仲間とともに学び合う、温かい関係性を基盤として～

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善（学びに向かう力の向上）
- 子どもとともにつくる安心感のある学級（学級力向上）

保護者・地域に信頼される学校づくり

- ・家庭・地域との連携
- ・安心安全な学校環境の整備
- ・学校評価の活用
- ・地域の教育力の導入
- ・情報発信やオープンスクール等の学校開放の促進